

企業を伸ばす 地域を活かす2

〈大田区編〉

⑦

ものづくりの街・大田区に 愛着持って中小企業支援

大田区は、私が大学時代から住んでいる愛着ある街です。

日本でも有数のものづくりが盛んな地域で、超精密ばね専門メーカーの小松ばね工業(大田区大森南)も当社の投資先企業。同社は大田区の代表的な企業としてメディアにも頻繁に取り上げられている有名企業です。

また、簡易水質測定器のパイオニアである「パックテスト」を製造販売している共立理化学研究所(大田区田園調布)、建設工事における地盤・地質調査のほか、不発弾の探査機器も製作し探査までを行う日本物理探査(大田区中馬込)など各分野でトップを行くユニークな企業が所在しています。

投資先企業の経営者は、常に新しいこ

とに挑戦されているので、設備投資のご相談などをいただくことが多くあります。

当社には、公的な施策情報を専門的に収集している部門があるので、そこから情報提供を受けて、革新的サービスの開発や試作品開発、生産プロセスの改善などの設備投資の際に活用できる「ものづくり補助金」等各投資先企業にあった最適な施策情報をご提供しています。

また最近では、人材育成に関する相談も多く寄せられています。その際は、当社で実施している研修メニューの中から、ご相談いただいた企業にあったものをご案内しています。

少しでも投資先企業のお役に立てるよう、「投資先企業が困っていることはな

にか、それを解決するために何が必要か」を考える日々です。

公的な施策情報や研修制度のご提供にとどまらず、何か課題が生じたときに「まずは投資育成に聞いてみよう」と思っただけの「ホームドクター」のような存在を目指しています。



東京中小企業投資育成 業務第2部
主任

吉野 紬哉さん(24歳)

1994年2月埼玉県熊谷市生まれ
2016年3月慶應義塾大学経済学部卒業
2016年4月東京中小企業投資育成入社 主任
業務第2部(東京都大田区担当)
に配属され、現在に至る